

第39回日本高齢者大会 in おおさか

大会成功のための推進ニュース

現地実行委員会事務局
事務局長 小寺重光
第7号

2026. 9. 7

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪高齢期運動連絡会（日本年金者組合大阪府本部内）
日本高齢者大会現地実行委員会 TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746
メールアドレス：daikouren@cc.wakwak.com

憲法改悪を許さず、平和、くらし、人権を守りぬく共同を広げよう

11・10 大阪国際会議場で会いましょう

参加目標を最後まで追求しましょう。会場を満席にしましょう。

9月5日（土）、おおさかグリーン会館2階会議室にて、日本高齢者大会inおおさか第8回現地実行委員会が開かれました。会議には畑中中央実行委員会事務局長、織部現地実行委員会委員長、久家大阪高齢期運動連絡会会長、近畿ブロック各府県代表、各団体代表など22人が集いました。

会議では、大会参加の取り組み状況、大会リーフレットの活用の促進、大会開催までのスケジュール確認、出店予定団体の確定、協賛広告、全体会300人の大合唱練習日確認と参加の促進、夜の交流会、

全体会・分科会・学習講座の準備進捗、第4学習講座（補聴器）ヒヤリンググループ設置（裏面詳細参照）、大会速報の発行準備などが話し合われ、実行委員会の仕事は大会開催日に向けて、着々と進んでいます。

大会まであと64日（9月7日現在）です。参加の第一次締切りが9月30日です。10月2日には参加者用の大会パンフレットが大阪年金者組合と近畿ブロックの各府県に届きます。もちろん全国の都道府県にも発送されます。

みなさんの、この2カ月間の奮闘をお願いします。

1.参加団体の参加目標

①中央実行委員会の目標

- ・2日間で延べ3000人プラスオンライン延べ800人 すべての都道府県から参加
- ②現地実行委員会の目標
- ・2日間で延べ2700人 オンライン延べ500人（1日目と2日目1対2で目標を提起）

チラシ・リーフレットを有効活用し組織のメンバーに大会日程を知らせ、参加確認を！
第一次申し込みは9月30日



団体名	1日目 目標	2日目 目標	延べ 目標
京都府	100	130	230
滋賀県	30	50	80
奈良県	30	50	80
和歌山県	50	100	150
兵庫県	50	100	150
大阪府	1182	1524	2706

ト集会（8月5日広島）
平和のためのペンライ



11月11日(水) 大阪府立国際会議場

第39回 日本高齢者大会 in おおさか

指揮 山本則幸 300人の大合唱 ピアノ伴奏 藤森伸代

リハーサル9時 本番10時39分～59分

初心者大歓迎！
練習に参加すれば歌えるようになります。

うたごえ

♪北摂会場 2回
10月5日(月)・19日(月)
13時～15時
会場 高槻市富田公民館
※会場は一か月前に確定します
担当：岩崎

♪全体練習会場
11月2日(月)
14時～16時
会場：大阪市東成区民センター
大阪メトロ千日前線・今里線
「今里」下車2番出口西3分
会場 06-5972-0717
担当：高瀬

♪大阪市会場 2回
10月20日(火)・27日(火)
14時～16時
会場 グリーン会館2階
担当：立川

♪河北会場 2回
10月11日(水)・24日(水)
14時～16時
会場 寝屋川市職員会館3階
担当：高瀬

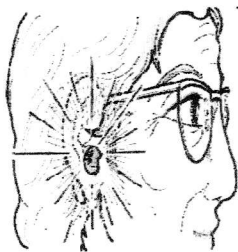
♪河南会場 2回
10月20日(火)・27日(火)
14時～16時
会場 富田林市民会館 松の間
担当：加藤

♪堺・泉州会場 2回
10月20日(火)・27日(火)
14時～16時
会場 サンスクエア堺5会議室
担当：石井

※ 各会場に「大阪のうたごえ協議会」から指揮者・ピアニストが参加します

合唱曲 ①憲法9条五月晴れ ②人として ③青春時代

※練習参加費はいりません。ただし、楽譜(200円)、音源CD(100円)販売します
※「憲法9条五月晴れ」はYouTubeで動画が見れます



日本高齢者大会「補聴器」の学習講座に初めて

11月10日

ヒアリンググループが設置されます

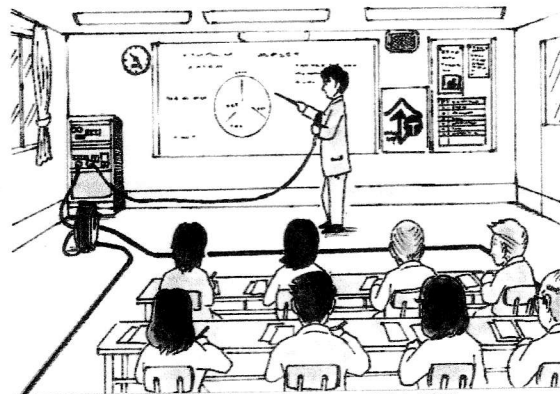
第4学習講座 15:00~16:30 会議室801+802

テーマ

耳の仕組みと
補聴器によるリハビリテーションについて

加齢による聴力低下は誰にも起こりうる身近な問題。補聴器助成の運動にも寄り添ってきた専門医とともに、耳の仕組みと補聴器によるリハビリテーションについて基礎から学びましょう。

講師／中村高志(京都府立医科大学 医師)



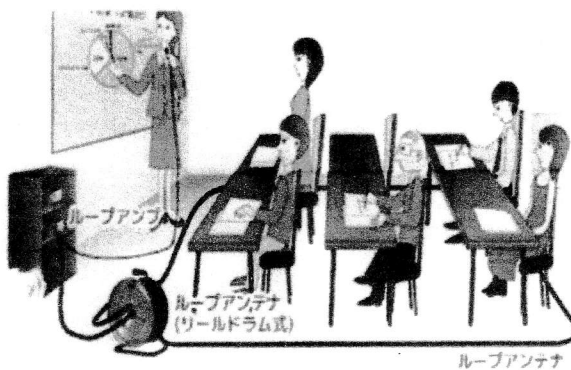
補聴器公的支援に向けた運動とともに

ヒアリングシステム

公共施設設置の運動にも取り組もう

ヒアリンググループとは

磁気ループとも言います。難聴者の聞こえを支援する設備で、床にはわせたループ状の専用アンテナを使って、マイクの音を電気信号に変えて、直接補聴器に届けます。ループ内側ではクリアな音を聞くことができます。



日本補聴器工業会の2020年1月29日開催された報告会での成沢理事長の話

公共の場に設置

ループ設置義務付けが大事

欧米では、公共の場所にはヒアリンググループ(磁気ループ)の設置を法律で義務付けていることが、補聴器の普及を後押ししているといえます。

同工業会により、ドイツではバリアフリーに関する法律で、公共の劇場や映画館、鉄道駅、スーパーなどにヒアリングループの設置を義務付けています。フランスでは公共・私設のエレベーターへのループ設置の義務付けなど同様の法規を制定しています。イギリスやデンマーク、スウェーデンもそれぞれ、ループの設置義務付けとその活用を推進する法的な措置を取っています。成沢さんは「補聴器の普及には、公的補助やヒアリンググループの設置義務付けなどが欠かせません。難聴者が生き生きと暮らしている社会づくりに、工業会としても力をつけたい」と話しています。